

## 曳山まつりの素晴らしさを映画を通して広めたい

映画監督

たにぐち みお  
谷口 未央さん

撮影場所：鳳凰山前(元浜町)

「小さい頃から大きくなってカッコいい曳山に興味がありました」と笑顔で話すのは谷口未央さん。現在、曳山まつりをテーマとした映画の撮影を予定している映画監督です。

小さい頃から映画が好きだったという谷口さん。ハリウッドやジャッキー・チェンの映画をよく見ており、中学の文集には『映画監督になりたい』と将来の夢を書いたそうです。「当時は映画が好きでなんとなく書いたんだと思います」と振り返ります。

その夢が具体的にってきたのは、20歳代後半の頃。数多く観た昭和初期の映画の影響を受け、映画監督という職業に惹かれます。その後一念発起して、上京し映画学校に通い始めます。卒業後、長浜で撮影した「仇討ち」が高い評価を受

けます。その後、認知症の介護をテーマとした「彦とペガ」であいち国際女性映画祭のフィルム・コンペティション長編フィルム部門のグランプリを受賞しました。

次の映画ではまた故郷の長浜を題材にして撮影しようと考えていた谷口さんの目にとまったのが『曳山まつりユネスコ登録見込み』の文字。「曳山まつりを題材にしたいと思いましたが、他の監督に先を越されてしまうかもしれない」と焦りを感じて、すぐに曳山まつりの總當番をお願いしたそうです。「平成31年のまつりで撮影させてもらうことを、總當番から全山組に計っていただき、許可をいただきました」と谷口さん。さらに今年の曳山まつりでは出番山の鳳凰山の協力を得て、短編映画『桑の実』の撮影

を行いました。

かなり厳しいスケジュールのなか、總當番、鳳凰山との調整や、スタッフ、キャストの決定、編集など奔走し、無事映画を完成させました。「撮影を通じて、まつりを守り伝える人たちの熱など、小さい頃とは違った魅力に惹かれました」と撮影を振り返ります。曳山博物館で行われた試写会には約250人が集まり、谷口さんに対する期待の高さが伺えました。

来年の曳山まつりで撮影が行われる本編『いぶきの祭り(仮題)』に向けて、今回の撮影を活かしたいと意気込む谷口さん。「完成したら、海外の映画祭にもエントリーしたい。故郷の曳山まつりの素晴らしさを世界に自慢したいんです」目標に対するひたむきな信念を持って歩みを進めていきます。

## Smile Smile

このコーナーでは、市内在住のお子さんたちの写真を掲載します。笑顔と元気あふれるお子さんたちの写真を募集しています。掲載を希望する人は市民広報課(☎65-6504)まで申込みください。



瑞生くん2歳のお誕生日おめでとう！家族を笑顔いっぱいにさせてくれるみーくん♡  
ありがとう 大好きだよ♡

山田 瑞生(みずき) ちゃん(平成28年10月生まれ)  
(木之本町黒田)

藤井 紗也奈(さやな)ちゃん(平成26年10月生まれ)後  
凜士(りんじ)ちゃん(平成28年7月生まれ)前  
(口分町)



けんかもするけどお互い大好き。  
いつも笑わせてくれてありがとう。  
元気にすくすく育ててね！

まちの人口	平成30年10月1日現在	人口118,659人	男58,111人	女60,548人	世帯数45,691世帯
	平成30年9月中の異動	転入253人	転出243人	出生59人	死亡80人 婚姻43件